

沖釣り釣行記

中部地方の沖釣り情報

遠州灘・伊勢湾・若狭越前

中部で“クエ”（御前崎地区では“カロウ”）・関東では“モロコ”、九州では“アラ”、地域によって呼び名は違いますが、この“クエ”は、釣り味も食べ味も最高級の魚です。私は、毎年この時期になると、クエを狙っての釣行機会が非常に多くなります。既に7月に、87cmを上げていますが、メーターオーバーを狙って、今月も釣行。幸いにも95cm・10kgをゲット出来ましたので報告いたします。

7月に続き8月にも

“クエ” (95 cm・10 kg)ゲット !!

8月27日（日）、大型クエを求めて、御前崎港の清高丸に単独で乗り込んだ。同乗者はクエ釣りのベテラン釣り師2名。私の釣座は、左舷胸ノ間。東の風8mの強い風が吹く中、船は浜岡沖のポイントに向けて、定刻・午前5時に御前崎港を出港した。

1時間後、錨を入れ、船が落ち着いたのを見届けた船長から「ハイドウソ」の合図が出た。私は、30cm程の冷凍サバを鼻掛けにし、200号オモリと共に第一投目を投入。実は、クエは、素早く泳ぐエサを捕獲するのは不得意のため、エサに冷凍の魚を使う場合が多い。

投入後しばらくの間、船上には静かな時が流れた。お邪魔虫のウツボの姿も見えず、本日は魚の活性が相当低いようである。

激闘30秒?! メーター越えならず!?

9時過ぎ、私のサオの先に、チョコチョコとしたアタリが出た。本アタリを期待して待つが後が続かない。しびれを切らして、そっと竿先を挙げた途端、竿全体が強烈に引き込まれた。

一気に巻き上げようとするが、ビクとも動かない。クエ釣りの場合、ハリに掛けた後、いかに早く魚を海底から引き離すかが勝負の分かれ道になる。しばらく、引き込みに耐えていると、引き込みが弱くなった。渾身の力でリールのレバーを巻き上げた。ズルズルズルズルと、巨体が海底から引きはがされる。5m程引き上げると、強烈な引き込みが若干弱くなった。しかし、魚の重さで、レバーを巻く手がしびれそうである。

非常に長く感じたが、ハリ掛かりから魚が浮き上がるまでの時間は、ほんの30秒程度であった。

ギャフが打ち込まれ、船上に引き上げられたのは、“95cm10kgのクエ”。メーターオーバーは達成できなかったが、シーズン中一匹でも釣ればラッキーと言われるクエを2か月連続でゲットでき、大満足の日であった。9月もメーターオーバーを目指して、御前崎の海に再々挑戦する予定です。

< 公認釣りインストラクター 福井 信明 >

